

1 事業概要

事務事業名		道路ネットワーク整備事業		課名	土木課	事業No.	240
				会計	一般会計		
				事業区分	政策	実施区分	継続
				開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称			
	戦略計画		12	リニア時代を支える都市基盤を整備する			
	分野別計画			地域再生計画			
				中心市街地活性化基本計画			
			辺地対策総合整備計画				
法令・例規等			道路法				
事業目的		対象	幹線及び一般市道				
		意図	幹線及び一般市道の整備により、社会基盤を強化				

2 事業内容

29年度取組	取組内容	経費の内容		事業費(千円)
	整備の必要な路線は、地元との調整を図るとともに各路線の優先順位付けを行い、集中的に事業を執行し早期に効果が発現できるよう計画的な道路整備を進めます。また、リニア時代に向けて、リニア中央新幹線や三遠南信自動車道の整備効果を広く市内で享受するため、計画的な整備を進め安全で効率的な道路ネットワークの構築を目指します。	道整備交付金事業		69,897
社会資本整備総合交付金事業（市街地整備）			207,174	
社会資本整備総合交付金事業（道路整備）			50,377	
辺地対策道路改良事業			26,189	
市道改良事業			95,942	
生活関連道路整備事業			17,234	
事務費			6,892	
その他の経費			0	

活動指標	指標名（数値で表せる活動量）	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
			実績	実績	実績	実績	実績
	社会資本整備総合交付金改良工事	箇所	2	3			
	中心市街地改良工事	箇所	4	4			
	道整備交付金改良工事	箇所	3	3			
	辺地対策道路改良工事	箇所	1	1			
	単独市道改良工事	箇所	24	31			

29年度決算(千円)	予算額	668,198	特定財源内訳及び補足事項				
	財源の状況	決算額	473,705	(国) 道整備交付金 (1/2) 34,595千円			
国庫支出金		159,575	(国) 社会資本整備総合交付金（市街地整備） (4.5/10) 97,464千円				
県支出金		0	(国) 社会資本整備総合交付金（道路整備） (5.5/10) 27,516千円				
地方債		183,700	(地) 過疎対策（充当率100%）7,400千円、（地）公共事業等（充当率90%）139,000千円				
その他		2,245	、（地）補正予算（充当率100%）10,700千円				
	一般財源	128,185	(地) 辺地対策（充当率100%）26,600千円、（そ）繰越金				

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	8	2	3	11	7	81,436	69,897	道整備交付金事業費
2	1	8	2	3	11	8	274,455	207,174	社会資本整備総合交付金事業費（市街地整備）
3	1	8	2	3	11	12	122,951	50,377	社会資本整備総合交付金事業費（道路整備）
4	1	8	2	3	12	5	45,727	26,189	辺地対策道路改良事業費
5	1	8	2	3	12	6	109,911	95,942	市道改良事業費
6	1	8	2	3	12	12	20,404	17,234	生活関連道路整備事業費
7	1	8	2	3	11	1	7,314	6,892	事務費

振り返り課題認識	整備路線の多くは市民生活に密着した生活道路として利用されています。幅員の狭隘箇所や勾配の急な箇所など、通行車両や歩行者の安全確保のため早期の完成が期待されています。
上記の課題解決のための有効策	事業内容を精査するとともに各路線の優先順位付けにより、集中的かつ効率的に事業を執行します。
次年度に向けての取り組み	補償交渉及び地元調整を進め、早期の全線供用を目指します。